

コースのあらまし 前半は小波田川右岸の台地に築造された美旗古墳群のうちの4基などを巡り、後半は往時の伊勢参宮街道である初瀬街道を中心に歩く。近鉄大阪線を越える歩道橋2か所や、旧伊賀鉄道の鉄橋跡があるなど、鉄チャンにうれしいスポットの他、紫陽花並木、桜並木など季節ごとの楽しみもある。江戸時代中期の建設で今も現役という農業用水路と並行するところもあり、昔の人の知恵を学ぶこともできる。ごく緩やかな上り下りはあるが全体にはほぼ平坦なコースで、どこも眺望が開けていて気持ちよく歩ける。

初瀬街道 このコースは途中、初瀬街道と重なる。興味深いのが、江戸中期に建設された農業用水路・新田水路と初瀬街道が交わる地点。高い土手の上を流れる用水路が、慶応2年(1866年)建立の立派な参宮常夜灯がある所で、突然、土手ごと途切れて伊勢街道が横切っている。これは逆サイホン(伏せ越し)という土木工法で、水路を街道の下を潜らせているもの。他にも道標延命地藏など昔を偲ぶる遺跡がある。

美旗市民センター ユニークな前方後円墳の形をした公的施設。内部には歴史資料室があり、女良塚古墳出土の家型埴輪、新田開発を記録した古文書、新田用水の各地区への給水時刻を決めていた日時計などが展示されている。付近全体の地形や古墳の位置、新田用水、街道などを模したジオラマを見ると、美旗地区の成り立ちがよく判る。

近鉄あみま倶楽部の情報はコチラ!→



●地図内の数字は、起点からの実測距離(メートル)を表わしています。

★は近鉄あみま倶楽部アプリのチェックポイントです。

馬塚古墳 5世紀後半築造の前方後円墳で、全長142mと美旗古墳群7基中、最大規模を持つ。進入路を進むと前方部の上に出ることができ、樹木も少ないので古墳の形がよく判る。後円部の頂上まで登れば、美旗地区はもちろん遠く室生の山々まで眺望できる。墳丘の随所に計33体の石仏が安置され、江戸時代には観音霊場となっていたという。馬塚を含む美旗古墳群は4世紀末から6世紀初めまでの築造と考えられ、すべて国の史跡。

美波多神社 元々、三柱神社という神社があったが、明治時代末の二度、美旗地区と新田地区にあったすべての神社を合祀。その結果、祭神は天照大御神など全部で15柱もある。境内には、この地一帯の新田開発に功績があった名張藤堂藩の重臣、加納直盛・直堅父子を加納大明神として祭る加納神社と、元の三柱神社、日照りの時の雨乞い神事に使われた雨乞石などがある。

ハイキングのエチケット
 *ゴミはまとめて持ち帰りましょう。
 *山火事防止のためタバコに注意しましょう。
 *大切な自然です。植物の採集はつしみましょう。

- 大阪難波駅から美旗駅まで約1時間(名張駅まで特急利用、名張駅のみかえ)
- 京都駅から美旗駅まで約1時間15分(名張駅まで特急利用、大和八木駅・名張駅のみかえ)
- 近鉄名古屋駅から美旗駅まで約1時間30分(伊賀神戸駅まで特急利用、伊勢中川駅・伊賀神戸駅のみかえ)

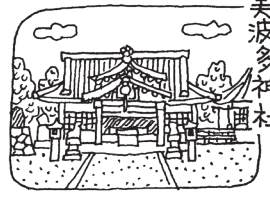
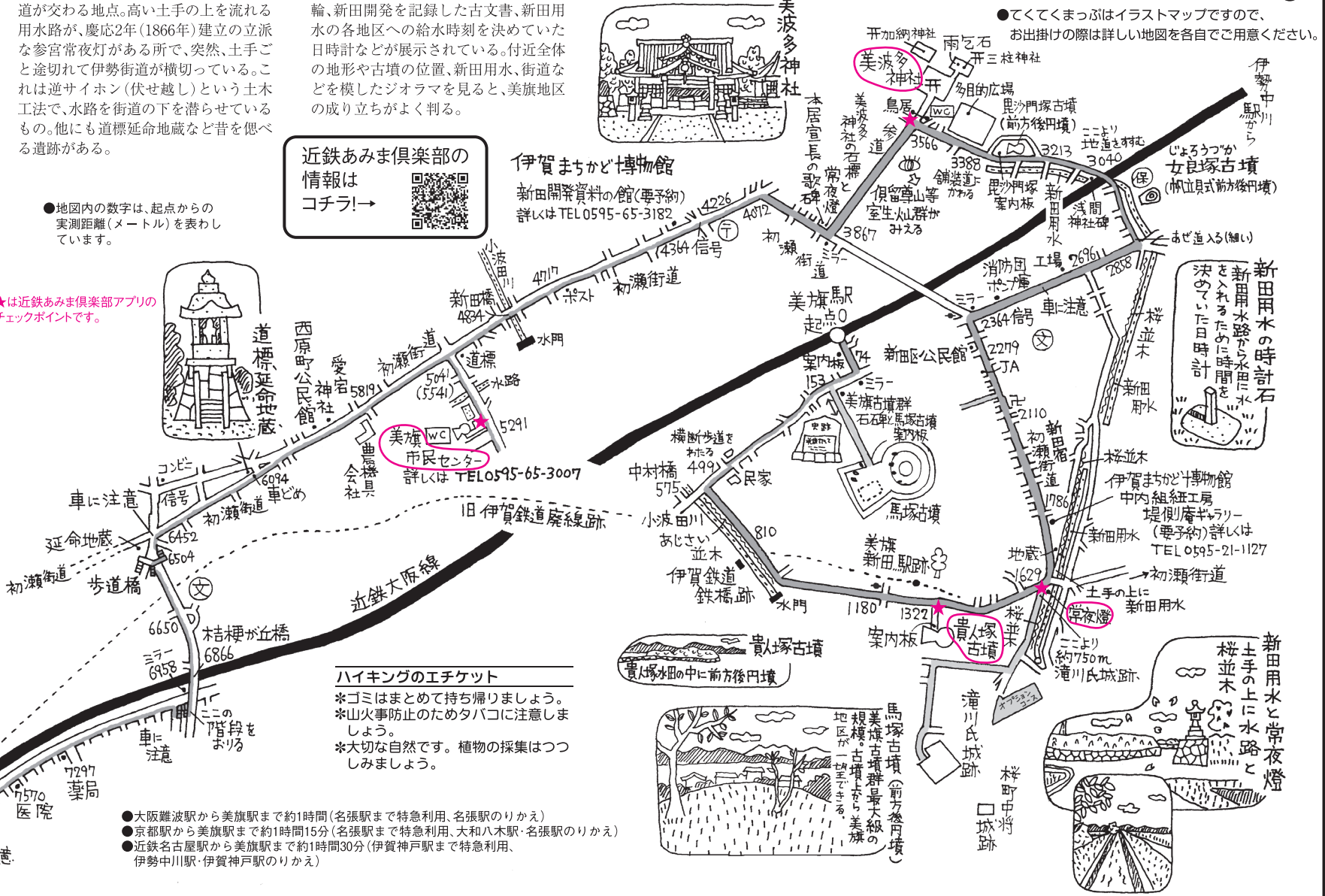
●約8キロ [美旗駅～馬塚古墳～美波多神社～美旗市民センター～桔梗が丘駅]

美旗古墳群巡りと初瀬街道コース

きれいな思い出 きれいな自然
 コミヤアキ缶は、持ちかえりましょう

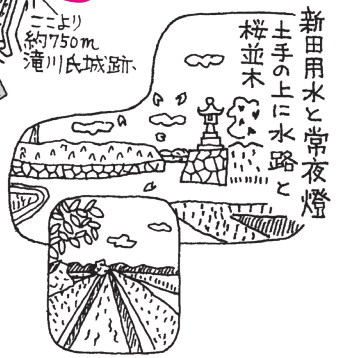
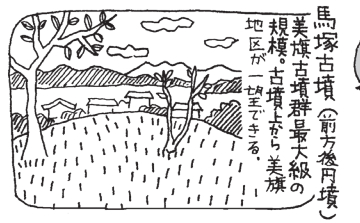
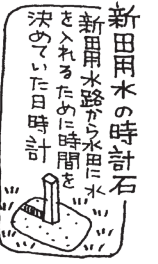
このコース地図は2021年7月調査に基づいて作成しています。
 風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。
 当コースのお問い合わせ=近鉄 大阪ハイキング係 ☎(06)6775-3566

●てくてくまっぴはイラストマップですので、お出掛けの際は詳しい地図を各自でご用意ください。



伊賀まちかど博物館
 新田開発資料の館(華子約)
 詳しくはTEL0595-65-3182

美旗市民センター
 詳しくはTEL0595-65-3007



●コース内の神社仏閣、施設等によっては、有料の個所があります。

企画・発行=近畿日本鉄道(株)
 制作・印刷=(株)アド近鉄
 イラストマップ=宮野耕治
 ※無断転写禁ず。